



実習生候補39人選抜

保温ベトナム実習協議会

日本保温保冷工業協会の会員企業で構成する保温ベトナム実習協議会(宮寺力也会長)は、ベトナムのハノイ保温学校の第3期生として39人を選抜した。22日に現地で行われた選抜試験には95人が参加し、体力・学力テストと面接の結果、男子36人、女子3人が技能実習生候補に選ばれた。選抜された生徒は、3月から日本語や建設安全、保温技術の各講習を受け始める。全

寮制の学校で4カ月間学び、毎月の到達判定試験をクリアした生徒だけが、8月ごろに来日できる。

修了生は全員、「N5」相当の日本語力を身に付けるほか、日本式の現場に必要な安全知識やルール・マナー、基本的な保温施工などを取得することになるという。

同協議会は2015年に第1期生14人、16年に第2期生21人を事前教育、日本に送り出している。いずれは年間100人を目標に、送り出し人数を拡大させていく方針だ。